



ひのっこだより



日野町内の幼稚園や小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。

必佐小学校

学校
教育目標

力いっぱい やさしさいっぱい

めあてしっかり コツコツと

340名の全校児童が元気いっぱい生き生きと生活しています。本校では、一人ひとりの力を発揮させる授業と学習習慣の確立、優しさあふれる心の教育の充実、健康・体力の向上と粘り強い態度の育成をめざし日々の教育活動に取り組んでいます。

力いっぱい学び鍛える

- 少人数指導の充実
- ファミリー読書の推進
- ノート展の実施



力いっぱい

毎学期「ノート展」を実施し、上手に学習の記録をまとめているノートを表彰しています。低学年の子どもたちも、お兄さん・お姉さんのノートを目標に、丁寧なノートづくりに励んでいます。

自分や友達を大事にする

- 必佐人権の日
- たてわり活動での仲間づくり
- 全校みんな遊び



やさしさいっぱい

毎月第1月曜日を「必佐人権の日」と位置づけ、教職員、各学年の児童による工夫を凝らしたテレビ放送などで、人権を大切にする学校づくりの呼びかけを行っています。

夢に向かってコツコツ進む

- 学校のきまりを守る
- 「げんき日記」の取り組み
- 地域の方々から学ぶ



めあてしっかり

公民館など地域に出かけて見学をしたり、地元の方々を講師に招いて体験活動を行ったりしています。こうした体験を通して、目標をもって粘り強く努力することの大切さを学んでいます。

南比都佐小学校

学校
教育目標

学習がすき 友達がすき

自分がすき

日野町の南部に位置する南比都佐にある本校は、自然に恵まれた歴史と伝統のある学校で、85名の子ども達が、元気に学校生活を送っています。

本校では地域の宝である子ども達を「すてきななんぴっ子」に育てるため学



活動や日野菜学習などの特色ある取り組みをすすめています。



すてきななんぴっ子

本校では、1年生がいつもお世話になっている6年生へ修学旅行前にてるてる坊主を作って渡すことが伝統となっています。今年も1年生が日頃のお世話を感謝して、気持ちをてるてる坊主に託してくれました。

また、今年も日野菜の栽培を通して本校独自の食育学習を体験しています。

そして、地域と連携し、地域に開かれた学校の実現をめざすとともに、小さな学校の大きな力を発揮したいと思っています。



*町では、居住地によって通学できる小学校を定めていますが、特例により町内のほかの小学校へ通学し、小規模校の特色を活かした授業を受けることができる「通学区域の柔軟化対応モデル事業」を行っています。詳しくは教育委員会事務局学校教育課または各小学校へお問い合わせください。

問い合わせ先

◆ 教育委員会事務局

学校教育課

☎0748-52-6564

このページは、役場企画振興課に職場体験に
 来られた日野中学校2年生の太田侑真さんと
 南川晴飛さんが企画し、取材、編集されました。

職場
 体験版

まちのわだい

T o w n T o p i c s

6月20日～6月24日までの5日間、日野町、東近江市、近江八幡市の事業所で、日野中学校2年生が社会に出たときのために経験値を増やし、仕事とはどういうことかを学ぶため、職場体験を行いました。

笑顔とあいさつが大切

～ブルーメの丘に取材に行って～

ブルーメの丘では、10名の生徒が体験に来ていました。

生徒は、厨房や販売で商品を並べる作業や料理の盛り付けを体験していました。レストランエーデルワイスの従業員の方に接客で気を付けていることを聞くと、「笑顔とあいさつに気をつけている」と答えてくださいました。

また、牧場カフェの従業員の方にどんな思いを持って働いているのかを聞くと、「お客様に対して失礼の無いように」と答えてくださいました。

生徒は体験をして、「仕事が忙しい」「大変だけど楽しい」と言っていました。体験していた生徒は、楽しそうに仕事をしていました。

カフェの厨房内での、開店前の様子



物販での商品の並べ方を教えてもらっている様子



人助けが自分の使命!

～日野消防署に取材に行って～

倒れている人に意識があるか呼びかけている様子



救出訓練前の装着確認の様子



日野消防署では、10人の生徒が体験に来ていました。生徒は、火事の煙で視界が悪い中を想定した救出訓練をしていて、生徒は5kgの酸素ボンベだけを付けていました。しかし、消防士は、火事の時になれば、20kgもある防火衣と5kgある酸素ボンベを1分前から装着できるところです。

消防署の人は、「素早く現場につけるように」とおっしゃっていて、体験に来ていた生徒の様子は「どうですかと聞くと」とても真面目に頑張っている」と答えてくださいました。

体験していた生徒たちは、「規律が厳しい」「呼吸器が息苦しい」などと言っていました。

生徒は、楽しみながらも、真剣な態度で体験をしていました。

編集後記

僕は、この5日間の職場体験を通して、色々なことを学びました。まず、取材についてです。取材では、あいさつと人の邪魔にならない思いやりが大切だと学びました。取材の他にも、文書の廃棄作業を体験して、大変な仕事でも一生懸命に頑張ることも学びました。

この5日間で学んだことを、これから活用していけたらいいと思います。

太田 侑真

僕は、職場体験学習を通して、事業所先での挨拶や姿勢が大事だということ学びました。

特に、様々なインタビューや広報の作成、カメラの扱い方など、大変なことが沢山ありました。この5日間の体験で、仕事の楽しさや大変さが分かりました。

「働く」という経験を活かして行けるといいなと思います。

ありがとうございました。

南川 晴飛



▲太田 侑真さん(左)南川 晴飛さん(右)